

	自 協 創	律 働 造	第2号
			令和6年5月14日
			発行者 大槻 亨
			編集者 相川 直綱

運動会に向けて

校長 大槻 亨



5月25日(土)には、第77回の運動会を開催いたします。運動会に向けて、個人種目や今年から復活した学年種目、大中ソーランやよさこいなど、練習も本格的に進んでいます。

749名の生徒数を誇る本校の運動会で生徒の躍動する姿が今から楽しみでなりません。

本校の運動会の意義や目的は、二つあります。一つめは、クラス・学年・学校全体の連帯感、一体感を作り出し、仲間と喜びを分かち合うことの素晴らしさを味わうということです。

700名を超える生徒が練習を積み重ね、一堂に会して一緒に汗をかき、仲間とともに一生懸命に演技をします。特に今年は、学年種目を復活させることから、互いに協働し、クラスのために頑張り、応援することを通して、クラスや学年の連帯感が深まり、団結力が高まると思います。また、大中ソーランやよさこいを通して、一つ一つの動きを大切に、皆で息を合わせ、心一つにして演技をすることで、一体感や充実感を得ることができるはず。一人一人の頑張る姿勢の集合体が生徒全体を輝かせ、見ている人たちに大きな感動を与えることは間違いありません。

二つめは、上級生が手本となるという、大泉中の伝統「大中プライド」を引き継ぐ大切な機会とすることです。3年生は最上級生としての誇りと責任を果たし、下級生はその姿を目に焼き付ける貴重な機会となります。

体育の時間には、学年を超えて合同で授業を行い、ダンス等の動きを先輩が後輩に伝えたり、ダンスリーダーを中心として、上級生から下級生へダンス指導を行ったり、係活動についても生徒会や専門委員会を中心に、様々な仕事を先輩から後輩へ教えている姿が多く見られます。運動会での上級生の活躍をしっかりと学び、「大中プライド」を引き継いでほしいと思います。

では、これらの目的を達成させるためには何が必要でしょうか。

一つめは、自律して行動することです。ただ、言われたことをやるのではなく、自分の役割は何か、クラスのためにできることは何かを考え、主体的に取り組んでいくことが大切です。

二つめは、協働することです。クラスの中には、運動が得意な人ばかりではなく不得意な人もいます。しかし、それぞれが違った役割を果たし、それを皆で支え合っていくことが大切です。そのことがクラスや学年のチームの力を高め、一人一人が持っている力を最大限に発揮す

ることにつながるはずで。

三つめは、新たな価値を創造することです。運動会練習の中で、クラスの勝利に向けて互いの考えがぶつかり合うことがあると思います。自分の考えを伝え、相手の考えを理解することで、一つ一つの良い点を発見することができます。異なる考え方を組み合わせることで、新たな方法を創造することができます。

「自律」「協働」「創造」の取り組みを通して、運動会のスローガンである「疾風怒濤」～弾ける！無限の可能性～にふさわしい、素晴らしい運動会となることを期待しています。

保護者、地域の皆様におかれましては、ぜひご来場いただき、生徒への温かい励ましの拍手と声援をお願いいたします。



運動会ポスター

校舎内には生徒のみなさんによる、創意あふれる運動会のポスターが、掲示されています。本番に向けて、みんなで気持ちを高めていきましょう。

